

2015年(平成27年)10月25日(日曜日)

増毛山道

開削の苦勞思いはせ

今季最後のトレッキング

【増毛】江戸末期に開

れた「増毛山道」(増毛町別
荘―石狩市浜益区幌、約27
キ)の復元コースを歩く体
験トレッキングが24日行わ
れた。雨に見舞われたが、参
加者は歴史に思いをはせな
がら、約8時間20分かけて
16キのコースを楽しんだ。

トレッキングは2011
年から、NPO法人増毛山
道の会と留萌振興局が実施
し、今季は4種類のコース
で全8回。この日が今季最
後で、札幌や苫小牧、帯広

などから参加した19人が増



1等水準点の標石についての説明を聞く参加者

毛町岩尾―別荘間のコース
を歩いた。

同会会員6人が参加者を
サポート。隊列を先導した
同会副会長の渡辺千秋さん
(64)が、測量の基準として

埋められた1等水準点の標
石や、山道に残る明治時代
の電信線の電柱、郵便物の
中継に使われた武好駅通跡
などで立ち止まって、それ
ぞれ解説した。

苫小牧市の宮田行雄さん
(68)は妻の真基子さん

(65)、友人夫妻と参加。「ガ
イドの説明を聞き勉強にな
ることが多かった。江戸末
期にこれほどの山道をつく
ったことや、山道を復元し
ているNPOの活動を知る
こともできた」と感心して
いた。

(堀雅晴)